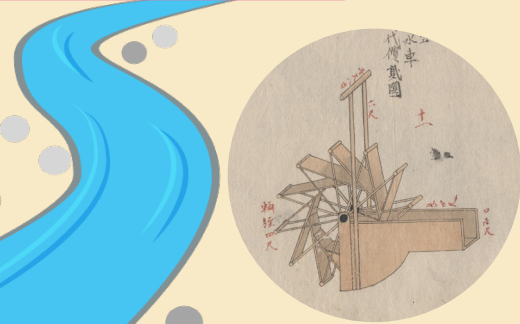




おお た く りつきょう ど はく ぶつ かん
大田区立郷土博物館
なつ やす じ ゆう けん きゅう
夏休み自由研究のための
フロアガイド

2F

こめ ささ ろくごうようすい
米作りを支えた六郷用水



田んぼでお米を作るには水が必要です。そこで、江戸時代に徳川家康の家臣である小泉次大夫が、農民に用水路を引く工事を行わせました。現在の東京都狛江市から多摩川の水が流し、大田区の田んぼに水を引いたのです。この人工の川を六郷用水といいます。

六郷用水は、大田区内のどこを流れていたのでしょうか？皆さんの小学校の近くにも用水路はあったかな？床に貼られた地図を観察してみましょう。

まつ
おおたのお祭り



神社やお寺で年に一回行われる大きなお祭りは、その地域の人々にとって、とても大切な行事です。お祭りがその土地の歴史や人々の暮らしに深く関係しているからです。

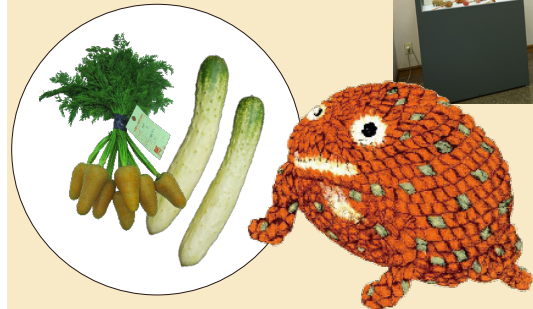
展示では大田区のお祭りの中でも、全国的に珍しいといわれている「厳正寺の水止舞」について紹介しています。このお祭りから、昔の人の「水」に対する思いを知ることができます。

水止舞の歴史を学んだら、つぎは自分が住んでいる地域のお祭りも調べてみましょう！

おおむかし
大昔の暮らし



でんとうこうげい
おおたの伝統工芸と
のうぎょうぎょぎょう
農業・漁業



江戸時代、大田区は4の村に分かれていました。この頃の人々は、田畑を耕して米や野菜を作り、海や川の近くでは魚や貝をとっていました。また、海苔の養殖も江戸時代から始まり、その他に大森麦わら細工や六郷とんび凧といった伝統工芸品も作られていました。

大田区の中でも、地域によって生産していたものは違います。自分の住んでいる地域では、どのようなものが生産されていたのでしょうか？展示室にある昔の工芸品や農業や漁業で使っていた道具もよく観察してみましょう。

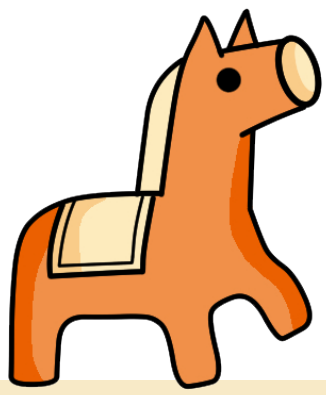
大昔の人々が残した暮らしの跡（遺跡）が大田区内には約240あります。常設展示では、発掘調査で見つかった旧石器時代から中世までの道具（土器、石器、金属器）や縄文時代の貝塚やイヌのお墓のはぎ取りなども見ることができます。各時代の道具の特徴を比べて、生活がどのように変わったかを考えてみましょう。

古墳についてもっと知りたくなったら、多摩川台公園古墳展示室にも行ってみよう！模型と実物大のレプリカを見ながら、田園調布の古墳群や古墳時代について学べるよ！



古墳展示室へのアクセスは
二次元コードでかくにんしよう





大田区立郷土博物館

夏休み自由研究のための フロアガイド

3F

くしゅうひがい かまた 空襲被害の大きかった蒲田



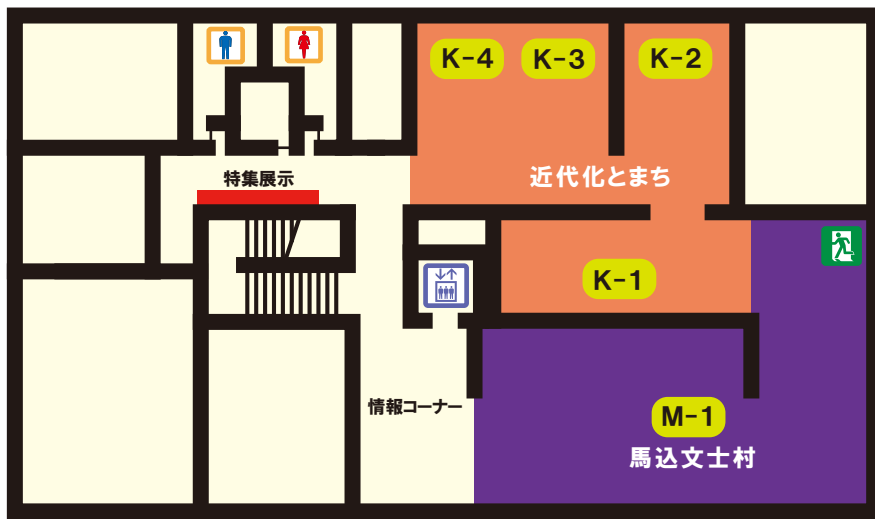
大田区に対するアメリカ軍の空襲（航空機で地上の目標を攻撃）は昭和19（1944）年12月に開始され、翌年4月15・16日の空襲で最大の被害を受けました。この時、蒲田区は99%が焼失したといわれています。なぜ蒲田区が狙われたのでしょうか？ まちの特徴を知ると、その答えが見えてきます。

とうきょうだいいち こうぎょうと し 東京第一の工業都市おおた



大田区内を歩きながら、まわりを見渡してみると、小さな工場がたくさんあることに気付くでしょう。大田区は小さな町工場（従業員の数が9人以下の工場）を中心とした「ものづくりのまち」です。皆さんは大田区工業の特長と得意技を知っていますか？ また、どんな種類の工場が大田区には多いのかな？ 自由研究で取り上げてみませんか？

まごめ ぶんし むら 馬込文士村の さっか が か 作家と画家



うつ か 移り変わるまちと 暮らし



大田区では大正時代の半ばころから人口が大きく増え、村が町へと変化します。これにより、田畑は宅地（人々の住む場所）に変わり、新しい道路が造られるとともに、古い道路も直線化され、こんにち私たちが目にするまちのかたちが作られました。7つの道路が交わる交差点に七辻（右下の写真）が誕生したのもこの頃です。まちが変わることで、建物や家のなかの暮らしも変わっていきます。



まちの変化する様子や仕組みを学び、私たちの暮らしがどのように変わったのかを調べてみましょう。



馬込・中央・山王などには作家や画家が多く住んだことから、いつしか「馬込文士村」と呼ばれるようになりました。なかには、馬込を舞台にした小説を書いた作家や馬込にある小学校の校歌を作詞した作家、それに大田区の風景を描いた画家などもあります。日本人として初めてノーベル文学賞を受賞した川端康成も一時馬込に住んでいました。皆さんの身近にも作家や画家が住んでいたかもしれません。作家や画家の人生や大田区との関係を調べてみましょう。ヒントは展示のなかにたくさんあります。

【展示を見て学んだら、今度は本で調べてみよう！】

大田区の区立図書館には、大田区に関する本がたくさんあるよ！
中には郷土博物館で販売しているものもあります。この二次元コードから、本をチェックしてみよう！

